

外科 (一般)

やまよし たかとも
主任部長 山吉 隆友

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医
日本外傷学会 専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本外科感染症学会 外科周術期感染管理認定医
日本腹部救急医学会 認定医
ICD制度協会 インフェクションコントロールドクター

卒年

平成7年



診療科の紹介

外科の本年度スタッフは、伊藤重彦院長、岡本好司副院長、木戸川秀生統括部長、井上征雄呼吸器外科主任部長、新山新小児外科主任部長、山吉隆友外科主任部長、野口純也消化器外科主任部長、上原智仁、山内潤身、長尾祐一、榊原優香、田嶋健秀の12名の体制にて診療を行っております。

取り扱う主な疾患

良性疾患を中心とした一般外科に加え、消化器外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、救急外科、小児外科という幅広い分野にわたる疾患に対する治療を当科における診療の基盤としております。

当科の特徴

当科では一般外科的疾患に加え、悪性疾患に対しては診断から治療はもちろんのこと、術後治療として適応のある症例に対しては抗癌剤を用いた化学療法などを含む補助療法も胸腹部を問わず積極的に行なっており、日本外科学会、消化器外科学会、呼吸器外科学会、小児外科学会としての維持に加え、当院のがん治療認定医機構における認定研修施設としての認可に寄与しております。また、救急疾患では様々な外傷疾患にも対応しており、外傷専門医研修認定施設としても機能しております。また、一般的な術後経過や敗血症、感染疾患に対しても厳格な術後管理を徹底しており、外科周術期感染管理教育施設としても認定され、日々の総合的研鑽による診療能力向上により皆様のお役に立てるよう日夜努力しております。

診療実績

診療科	主な臓器	主な疾患	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
一般・消化器外科	食道・胃・十二指腸	食道疾患	0	0	0	0	0	1
		潰瘍穿孔	2	2	4	0	2	1
		胃癌・腫瘍性疾患	13	18	16	16	11	6
		その他	3	0	1	4	2	2
	小腸・大腸・肛門	大腸癌・腫瘍性疾患	39	44	39	41	52	27
		イレウス	8	14	8	14	4	12
		小腸・大腸穿孔	1	11	8	1	3	8
		急性虫垂炎	28	31	30	37	29	35
		痔核・痔瘻・肛門疾患	4	7	12	9	13	11
	肝・胆・膵	胆石・総胆管結石	50	35	43	48	45	51
		肝癌・胆嚢癌・膵癌	27	38	43	34	29	34
		急性膵炎・その他	2	2	0	0	2	0
	腹壁疾患・ヘルニア		35	53	36	38	30	55
	腹部外傷		3	1	4	1	1	2
	その他		6	8	9	17	7	10

外科 (消化器外科)

のぐち じゅんや
主任部長 野口 純也

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本消化器病学会 専門医
日本肝臓学会 専門医
日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医

卒年

平成7年



診療科の紹介

消化器外科はスタッフ9名で診療を行っております。スタッフには外科学会指導医・専門医、消化器外科学会指導医・専門医、内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会指導医・専門医、消化器内視鏡学会指導医・専門医、肝胆膵外科学会高度技能指導医、肝臓学会指導医・専門医、救急科指導医・専門医、外傷専門医、癌治療教育医・認定医等がそろっています。

消化器外科としては胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆道癌、膵臓癌等の悪性疾患や胆石症、虫垂炎、鼠径ヘルニア等の良性疾患に対して積極的に手術に取り組んでいます。鏡視下手術も胆嚢摘出のみならず、胃癌、大腸癌を中心に意欲的に取り組んでおり、現在では消化器に関する手術の半数以上を腹腔鏡下に行っています。また、手術適応とならない消化器疾患に対しても当科において柔軟に対応出来る体制に努めています。特に消化器内視鏡学会指導医、専門医のもと、上下部内視鏡検査、胆膵内視鏡検査やそれに関連する処置等も積極的に行っております。

当院は救命救急センターがあるため、急性腹症、腹部外傷等を扱う頻度が高いのが特徴です。麻酔科や手術室の協力のもと、いつでも緊急手術が可能な体制をとっています。また治療に際しては、患者様が思い描く最良の結果を得られるよう、各疾患の診療ガイドラインなども参考にしながら科学的根拠に基づいて手術や治療戦略を立てています。特に悪性疾患の患者様には、不安を取り除くために、病気の程度や手術の内容、あるいは抗癌剤治療の内容や予定など、分かり易く説明を行うことを心掛けています。

新病院では、手術室内に血管造影とCTが同室で出来るハイブリッドオペレーションルームが新設されました。これにより外傷や出血性疾患に対して、より迅速に対応可能となっています。

消化器外科 スタッフ紹介

副院長
消化器・肝臓病センター長 岡本 好司 (おかもと こうじ)

卒年 昭和60年

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医／日本消化器外科学会 専門医・指導医／日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医／日本肝臓学会 専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医／日本消化器病学会 専門医・指導医／日本乳癌学会 認定医／日本腹部救急医学会 腹部救急暫定教育医・腹部救急認定医／日本消化器外科学会 専門医・消化器がん外科治療認定医／日本Acute Care Surgery学会 認定外科医／日本血栓止血学会 血栓止血認定医 等

統括部長 救命救急センター長 木戸川 秀生 (きどがわ ひでお)

卒年 平成元年

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医／日本消化器外科学会 専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医／日本消化器外科学会 専門医・消化器がん外科治療認定医／日本救急医学会 専門医／日本消化器病学会 専門医／日本内視鏡外科学会 技術認定医(消化器・一般外科)／日本腹部救急医学会 認定医・暫定教育医／ICD制度協会 インフェクションコントロールドクター／日本腹部救急医学会 評議員／福岡救急医学会 評議員／九州外科学会 評議員／日本外科感染症学会 評議員／日本内視鏡外科学会 評議員 等

外科主任部長 山吉 隆友 (やまよし たかと)

卒年 平成7年

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医／日本消化器外科学会 専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医／日本消化器病学会 専門医／日本外傷学会 専門医／日本がん治療認定医機構 がん治療認定医／日本外科感染症学会 外科周術期感染管理認定医／日本腹部救急医学会 認定医／ICD制度協会 インフェクションコントロールドクター等

外科部長 上原 智仁 (うえはら としひと)

卒年 平成14年

専門医等

日本外科学会 専門医／日本消化器外科学会 専門医／日本消化器病学会 専門医／日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医

外科部長 山内 潤身 (やまうち ますみ)

卒年 平成15年

専門医等

日本外科学会 専門医／日本消化器外科学会 専門医／日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医／日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医

外科部長 長尾 祐一 (ながお ゆういち)

卒年 平成15年

専門医等

日本外科学会 専門医／日本消化器外科学会 専門医／日本消化器病学会 専門医／日本消化器内視鏡学会 専門医／日本がん治療学会 認定医／日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医

外科部長 田嶋 健秀 (たじま たけひで)

卒年 平成21年

専門医等

日本外科学会 専門医

外科部長 榎原 優香 (さかきばら ゆうか)

卒年 平成24年

専門医等

日本外科学会 専門医

外科 (小児外科)

主任部長 しんやま 新山 しん 新

専門医等

日本小児外科学会 専門医
日本外科学会 専門医

卒年

平成6年



診療科の紹介

当院は小児救急・小児総合医療センターとして、北九州市のみならず近隣の市町村を含めた北九州医療圏の小児医療を担っている施設です。そのため外傷や急性期疾患、虐待など、外科的処置の必要な子ども達が大量運ばれてきます。小児科医のみならず脳神経外科、形成外科、整形外科、泌尿器科と手を合わせて合同で診療に当たることが必要になります。その中で小児外科は、腹部や胸部の疾患に対応できるように心がけています。

取り扱う主な疾患

年間約110件前後の全身麻酔手術を行っています。小児（16歳未満）急性期疾患として最多は急性虫垂炎であり、50件程度です。2019年は若干少なく44件でしたが、全例腹腔鏡下、しかも単孔での手術で完遂しています。その次に多い疾患は外鼠径ヘルニアで、20件から30件程度手術を行っています。

その他には、化学療法を行うための中心静脈カテーテル挿入術、喉頭気管分離術、気管切開術、胆道拡張症手術、胃瘻造設術などを行っています。

当科の特徴

現在常勤の小児外科医は1人のため、他科の様に“小児外科”独立で診療に当たることは困難であり、小児科医と一緒に診断・診療を行い、成人外科医とグループになって手術を行っているのが現状です。

また小児外科は2019年12月北九州市立八幡病院が新病院に移転するに当たり、正式に標榜できるようになりました。さらに日本小児外科学会教育関連施設に認定されているため、大学へ手術応援を依頼することで高度先進医療手術を提供できる状況にあると考えています。小児外科を目指したいという若手医師の研鑽の場になれるよう、また研修医が小児外科に少しでも興味を持ってもらえる場になるようにする責務があると思います。

一方、当院が現在産科を休診しているためにNICUが併設されていません。そのためにどうしても新生児疾患に関しては、他の総合病院の小児外科に頼らざるを得ない状況が続いており、今後の課題として捉えていく必要があります。

小児外科は、今後も小児に携わる外科として他科と連携を保ちながら、また教育関連施設として教育にも務めながら安全な診療を心がけていきます。

診療実績

	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
急性虫垂炎	44	70	65	69	64	65	56	49	52
鼠径ヘルニア	21	28	28	21	30	48	31	16	28
内視鏡（鎮静下）	34	57	44	31	25	7			
手術計	117	144	129	115	111	123	104	89	91

外科 (呼吸器外科)

主任部長 いのうえ まさお
井上 征雄

専門医等

日本外科学会 専門医
日本救急医学会 専門医
社会医学系専門医協会 専門医・指導医
肺がんCT検診認定機構 認定医
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医 等

卒年

平成5年



診療科の紹介

呼吸器外科専攻認定医1名を中心に、消化器外科医や小児外科医と連携しながら、呼吸器外科症例の手術を行っています。

取り扱う主な疾患

重症外傷、胸部外傷
気胸、膿胸など急性期疾患
肺癌、縦隔腫瘍

当科の特徴

救命救急センター併設している関係で、自然気胸や急性膿胸など緊急性を有する疾患が多く、また、胸部外傷など胸腔ドレナージを伴う全身管理も行っています。また、新病院移転に伴い新設されたハイブリッド手術室を使用して、術中触知困難な末梢肺病変に対するナビゲーション手術も近年導入しております。

長崎大学や島根大学とも連携し、肺がんや縦隔腫瘍に対しても、完全鏡視下手術も積極的に行っています。



2階 待合



3階 OP8(ハイブリッド手術室)



3階 手術室ホール